

祐樹式・特別レポート

英語をズバツと口から飛び出させる最強の方法

英語を楽しもう！六単塾
塾長 祐樹せつら

通常のやり方では英語はズバツと話せない

通常のやり方では英語はズバツと話せません。

なぜなら日本の学校で学んだ通常の英語法はとてつもなく難しいからです。

学校であなたは何を学びましたか？英文法をつかって英語を日本語に翻訳すること」だけですよね。しかしこの日本の方法はこれが英会話では難しすぎるのです。なぜなら以下のステップを同時にしなければいけないから。

日本の方法で英語を話すステップとは

1. 言いたい日本語を思い浮かべる
2. 日本語を英語順に並び替える
3. 単語を思い出す
4. 時制や数量など必要な単語の形式を変える
5. 単語ごとに発音する

日本で学んだ方法で英語を話すには以上の 5 ステップを踏まねばなりません。

英語を話している間にずっと5つのことをしつづけなければいけないんです。これは相当むずかしいです。頭の中で高速回転しながら翻訳しなければいけないですから。

でも人間の頭ってそんな風にはできてません。一言しゃべるだけでそんなにエネルギーつかってたらしんでしまいます（笑）。

普段日本語をしゃべっているあなたを想像してください。そんなに頭つかってしゃべってますか？頭つかってない

でしょう。本能でしゃべっているでしょう。それが正しい世界です。頭にエネルギーなんて使わせちゃいけないの。

英語をズバツと口から飛び出させるには

英語をズバツと口から飛び出させるのは簡単です。

1. 動作確認済みの英会話を先に調べておぼえておく。
2. そして話すときに思い出す。

このように「覚えること」と「思い出すこと」の2つにするのです。そうすれば英語を話すステップは次の3つで済みます。

祐樹式・英語を話すステップ

1. 言いたい日本語を思い浮かべる
2. 日本語に対応するフレーズを思い出す

3. フレーズを発音する

ズバツと英語を口から飛び出させるにはこの方法が最強です。通常 5 ステップかかるのが 3 ステップになるからです。テンポよく話すことが可能になる。

3 ステップだから強い

動作確認済みの英会話を先に調べておぼえておく。そして話すときに思い出す。そうすれば通常 5 ステップかかっていたのが 3 ステップでいい。

つまり英会話が口から出るスピードも早くなる。そしてその英会話の内容も確実です。なぜなら動作確認済みの英会話を思い出しているわけですからね。

実際僕の方法なら英会話がとってもラクになります。会話する場でいちいち会話を作らないので。思い出すだけです。頭のエネルギーは減るんです。

僕はいま訓練次第で 0.5 秒ぐらいで英語は口からとびだします。イントネーション・発音も完璧に近くなっている。だから僕は口からズバツと英語を話せるようになっているわけです。要するに「訓練のたまもの」です。

日本の学校で学んだことは英会話には無力

日本の学校で学んだ方法は英会話には無力です。

「英語を読むだけでいい」なら日本のやり方も通用しますけどね。だって英文を訳すだけならあなた一人の世界です。どれだけ時間をつかって誰もあなたを待ちませんから。頭は大変疲れますがやってできないことはない。一人でやるなら時間はたっぷりあります。だから日本式の翻訳をしてもいいのです。

しかし英会話というのは「相手」が必ずいるんですよ。1人でぶつくさ言うのは会話とは言いませんよね。英会話をする上では必ず話相手が 1 人以上は存在する。

ネイティブだったり外国人だったり誰でもいいですが必ず1人はいるわけです。

とすれば1つの会話が出るごとに何分も待つわけにはいきません。体感でいえばたった1秒ぐらいしかあなたの会話を伝える時間は与えられていません。だって1秒ぐらいでポンポン受け渡しするのが会話じゃないですか。数分も人の会話を待つ人は普通いませんよね？

この1秒以内に日本式のやり方だと5ステップを同時にこなさなければいけない。これは無理。相当な訓練と頭のよさが必要になるんです。

だから日本人の「文法で翻訳する英会話法」はつらい。つらいだけでなく英会話が口から出るまでのスピードも遅い。

しかもそうしてできた日本製の英会話のほとんどは「間違い」なのです。おかしい変なコトバができてしまいます。

なぜなら日本で学ぶ英文法は不完全だからです。

日本で学んだ英文法は英語⇒日本語のみ動作確認がされています。日本語⇒英語には無力なのです。だから文法をつかって翻訳すると変な英会話ができあがる。

よって日本式で頭を絞り上げて必死で作り上げたせっかくの英会話はネイティブからは馬鹿にされてしまいます。

「HUH?」というジェスチャーをされる。このときこそ悲しいことはないんです。僕は何度もあります（泣）。

日本で学んだことをベースに英会話しても辛いだけです。苦勞して頭で翻訳を考えて必死につくった英会話が通じない。これってすごく悲しくないですか？僕は悲しかったです。

そしてほとんどの日本の方も同じ想いをされていると僕は確信しています。ならば僕のやり方で発想を逆転すればいい。

覚えることはシンプルにする

なぜ僕のような口下手でも英語を伝えることができたのか？僕のような凡才でも英語をききとれたのか？

後になって考えてみますととてもシンプルな方法だったからです。実際には「日本語と読みかな」のセットをつくるだけですから。

そこには英文法の知識も翻訳の知識もアルファベットさえ介在しません。発音の問題もありません。発音自体はすでに「読みかな」としてつくってある。それを読めばそのまま通じます。

たとえば「シャワーが壊れている」という日本語に対して「ダシャワーダズンワーク」という発音カナをおぼえているだけです。簡単でしょ？

ここで1つ注意。発音カナの代わりに英文で覚えてもいいですか？という質問をよくいただくんですよね。

実際英文のほうが覚えやすいという人も多いです。だから僕も英文で覚えることもありますからそれは別に否定しません。

ただし英文で覚えるよりも発音カナで覚えたほうがいい利点が2つもあるんです。

発音カナで覚える利点1：ステップが2つに減る

利点の1つはステップが1つ減ることです。

さっき僕の方法だと英語を話すまでに3ステップになるといいました。

1. 言いたい日本語を思い浮かべる
2. 日本語に対応するフレーズを思い出す
3. フレーズを発音する

ここで「発音カナでフレーズを覚えておけばステップ 3

が消える」んです。思い出したらそのまましゃべればいいんで。

英文で暗記すると英文で思い出さなければいけないのでそれを発音する手間（ステップ 3）がいるんですけどね。僕のやり方だとステップがたった 2 つになるわけ。

ということはその分即座に英語をズバツと話せるようになる。ステップが減る分早く口から出るわけですから。

僕はとにかくズバツとしゃべりたいタイプなのでステップ 3 を省略するために発音カナで覚えてます。

発音カナで覚える利点 2：発音が完璧になる

そして利点の 2 つは発音が完璧になること。英文で覚えると発音がダメなことって多いんです。

たとえばあなたに質問。bottles って発音できますか？

答えは「ボトルズ」じゃないですよ。答えは「バローズ」です。

質問2 いきます。Walk って発音できますか？

Walk は「ウォーク」じゃないですよ。答えは「ウアーク」です。

日本人はよく「ウォーキング」と言いますが英語の発音的には「ウアーキング」なんです。

質問3 いきます。Work って発音できますか？

Work はワークじゃないですよ。「ウォーク」です。

日本人は「ワーホリ」とか言ってますけど英語の発音的には「ウォーホリ」なんですよ。

このように walk と work って日本人はあべこべの発音をしているってことがわかりますよね。

だからアルファベットをみて勝手に発音するんじゃなく発音カナをちゃんと調べておく必要がある。

そして「ちゃんと調べて動作確認した発音カナごと覚えれば発音ミスは防げるよ」ということを言いたいわけ。

「日本語」と「発音カナ」のセットだけおぼえる。逆にいうとそれ以外は一切おぼえない。それぐらいおぼえることをシンプルにすればいい。シンプルイズベスト。

ただしシンプルなことをおぼえる代わりにそのセットの数をたくさん増やすんです。いきなりは無理ですよ。時間はあります。いきなり覚えてもすぐ忘れますからね。覚えるコツというのはあるんだけどそれは別の機会に。

アクションステップ

最後に英会話をあなたが自分のものにするためのアクションステップ。この辺をまとめておきましょう。

まず事前準備として日本の学校で学んだことは忘れてください。忘れていいです。英文を読むのには便利かもしれませんがね。

英会話には既存の日本の教育はなんの意味もない。忘れてもらった方がいいかと思います。英文法の知識。翻訳の知識。まったく不要です。

英会話する場で翻訳して英語をつくろうなんてこと絶対に考えないでください。それはあなたの「怠慢」です。英文を覚えていないあなたの怠慢です。だから英語を話せないだけ。

先ほどお話ししましたように日本語を翻訳して英文にするように英文法はできてません。日本で学んだ英文法は不完全で不可逆なんです。信頼に値しない。だからこれだけ何十年も日本人は英語で困っているんですよ。

だから英語をつくろうという考え方自体が怠慢です。英語のプロでもない人が作り出せるわけありません。

英語はつくるのではなく「覚えて思い出す」。そうしてください。この戦略の切り替えができる人が勝てます。

もしあなたが英語でうまく話せないとしますよね。でもそれは「あなたの能力不足だからではない」ので安心してください。「事前に英会話を覚えていなかっただけ」だと考えてください。

逆にいえば事前に英会話を覚えていればすべて解決します。その場で「パツと」言いたいことが言える。その場でネイティブの言葉がなんでもわかる。そういうことなのです。すごいシンプルでしょ。

僕のような平々凡々な人間でも英語が話せるようになりました。パツと言いたいことを言えるわけなんですよ。それはひとえに日本で学んだ英文法を一切使わないシンプルな方法をとったから。先ほどお話したシンプルなことです。そしてこのシンプルな方法は世界中の大人や子どもがやっていることでもあるのです。